# 10 Minutes of Code - Python

#### TI-NSPIRE<sup>™</sup> CX II WITH THE TI-INNOVATOR<sup>™</sup> HUB

Unit 2: TI-Innovator™ Hubのforループ Skill Builder 1: 光のループ 目標 このレッスンでは、TI-Innovator Hubのコンテキストでのfor ループの概念を紹介します。

- range()関数を使ったforループ作成 •
- float()を使って10進数値を入力 •
- カスタム点滅ライトの作成

コードの集まりを、指定された回数ループするときは、range()関数でfor ループを使えます。

range()関数は、既定値で0から始まり、1(既定値)ずつ増加し、指定された 数で終わる一連の数値を返します。

関数light.blink()では、点滅サイクルを十分に制御できません。ライトは どのくらい点灯し、どれくらい消灯させるか。10秒間に3回点滅させるこ とはできるだろうか。

このレッスンでは、この制御と、点滅の総数を直接制御できるプログラム を開発します。

- 1. 新規のPython Hub Projectテンプレートから始めます。 3つの入力ステートメントを記述します。
  - 点滅の総数に対して1つ
  - onTime(LEDが点灯する時間)用に1つ
  - offTime(LEDが消灯する時間)用に1つ

Note: 整数ではない点滅時間を設定したい場合があります。input()関 数の前にint()を使う代わりに、float()を使います。これにより、小数 で数値を入力できます。

float()とint()は, menu > Built-ins > Typeの中(メニュー>組み込み>タ イプの中)にあります。

2. ステートメントを挿入します。

for index in range(size):

block

これは、menu > Built-ins > Control(メニュー>組み込み>制御)から選 択します。

つぎに,インラインプロンプト(行内入力要請)index, size, blockを 置き換える必要があります。

 1.2 1.3 1.4 ▶\*Unit 2 Py... ops 🔁 \*u2sb1.py 12/25 from ti\_hub import \* from math import \* from time import sleep from ti\_plotlib import text\_at,cls from ti\_system import get\_key \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ \_ blinks = int( input("Number of blinks? ") ) onTime = float( #complete this ... offTime = float( #complete this ...

RAD 1





#### **UNIT 2: SKILL BUILDER 1 STUDENT ACTIVITY**

# 10 Minutes of Code - Python

TI-NSPIRE<sup>™</sup> CX II WITH THE TI-INNOVATOR<sup>™</sup> HUB

3. indexを任意の変数に置き換えます(iが一般的に使われます)。tabを押 して,次のフィールドに移動します。

sizeを,最初の入力ステートメントで使われた変数blinksに置き換え ます。もう一度tabを押して,blockを強調表示します。

 forループのblockは、ライト(TI-Innovator Hubの赤色LED)を操作する 一連のステートメントです。light.on(), light.off(), sleep()ステート メントを使います。やってみましょう。inputステートメントで使った タイミングの変数を使うことを忘れないでください。

すべての入力ステートメントに10進数の値を使えますが、 点滅回数は 整数に変換されます。まばたきを1/2にすることはできません!

次のステップは、完成したプログラムを示しています。

5. プログラムは次のようになります。

blinks = int( input("Number of blinks? ") )
onTime = float( input("ontime?"))
offTime = float( input("offtime"))
for i in range(blinks):
 light.on()
 sleep(onTime)

- light.off()
- sleep(offTime)
- プログラムを実行するときは、値を入力してからLEDを確認してください。プログラムが終了すると、ライトはオンまたはオフになりますか。

LEDは点滅しますが、TI-Nspire CX II画面では何も起こりません。for ループ内にprintステートメントを追加して、現在の点滅番号を表示し ます。

## print(i)

**print()**は**menu > Built-ins > I/O**(メニュー>組み込み>I/O)にあります。

プログラムを実行すると、LEDが命令どおりに点滅するため、シェル 画面にインデックス変数iの値が表示されます。画面上の数字に何か変 わったことに気づきましたか。 \*点滅番号は「点滅回数-1」です。

## UNIT 2: SKILL BUILDER 1 STUDENT ACTIVITY





1.2 1.3 1.4 ▶*Unit 2 Py ops	rad 🚺 🗙
🛃 *u2sb1.py	17/31
from ti_system import get_key	
<pre>#====================================</pre>	))



# 10 Minutes of Code - Python

### TI-NSPIRE<sup>™</sup> CX II WITH THE TI-INNOVATOR<sup>™</sup> HUB

 標準のPython print()関数の代わりに、Hub Projectテンプレートがイン ポートする、特別にTexas Instrumentsが開発したtext\_at()関数を使え ます。プログラムの上部にあるimportステートメントを参照してくだ さい。

**menu > TI Hub > Commands(**メニュー>TI Hub>コマンド)から, text\_at(...)を選択します。

text\_at( row , "text" , "align" )

rowは、何行目にtextを表示するかで、ここでは6行目にします。 "text"の代わりに、次の式にあるstr(i)を使います。

**Menu > Built-ins > Type**(メニュー>組み込み>タイプ)とiの整数値を文 字列に変換します。

"align"は文字列を表示する横方向の位置を、3つのポップアップの選 択肢のleft(左), center(中央), right(右)のいずれかを選択します。 print(i)ステートメントは、ctrl+tを押してコメントに変換します。 次のようになります。

# print(i) text\_at(6, str(i), "center")

- プログラムを再度,実行します。ライトを10秒間に3回点滅させるには,どのような値を入力する必要がありますか。次を試してみましょう。
  - blinks = 3

offTime = 2

3回目の点滅は開始10秒後に終了しますが、プログラムはさらに2秒間 終了しません。他に選択肢はありますか。

作業内容を保存することを忘れないでください。

1.1 1.2 1.3 ▶*Unit 2 Pyops	rad 📋 🗙
🛃 *u2sb1.py	13/27
from ti_plotlib import text_at,cls from ti_system import get_key #-	
blinks = int( input("Number of blinks? " onTime = float( input("on time? ")) offTime = float( input("off time?")) for i in range(blinks): # print(i) * text_at(6, str(i), "center") * light.on()	))

1.3 1.4	1.5 🕨	*Doc	rad 📋 🗙
4			
3 -			
2			
1 <i>on</i>	) [	on	on
-1	2 3 4	5 6 7	8 9 10 11
-2 -			
-3			